

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 三菱電機クレジット株式会社（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- (1) 三菱電機グループの金融会社で、三菱電機（出資比率45%）と三菱HCキャピタル（同45%）の持分法適用関連会社。三菱電機ならびに同グループの製品や商流にかかるリースを中心にクレジット事業や融資事業などを手掛ける。格付には、三菱電機グループや三菱HCキャピタルとの取引面、資本面、人事面での結びつきに裏打ちされた比較的良質な営業基盤に加え、比較的健全な水準にある資産の質や財務基盤を反映している。一方、足元では利益水準の低下には歯止めがかかったものの、収益力改善に向けた取組みを成果に結びつけることが課題である。
- (2) これまで資金原価控除前粗利益の減少が続いてきたが、21/3期は96億円と前期並の水準を確保した。また、与信関連費用の減少もあり、経常利益は22億円と前期比16%の増益となった。もともと、ファクタリングを控除した取扱高は前期比18%減の870億円と、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などを受け大幅に減少した。22/3期上半期の取扱高は前年同期を若干上回ったものの、営業資産残高は20/3期をピークに減少している。厳しい競争環境の持続などから営業資産残高の拡大は見込みにくく、利益水準の本格的な改善には時間がかかる可能性がある。当社は21年4月に打ち出した第7次中期経営計画において、①三菱電機グループおよび三菱HCキャピタルとの提携のさらなる強化②収益性を意識した事業ポートフォリオの構築③ローコストオペレーションの徹底—などに取組むことで、収益力の向上に結び付けるとしている。ソリューション営業を通じた三菱電機グループとの連携強化には成果もみられるが、JCRは、これらの取組みの進捗を注視していく。
- (3) 資産の健全性は総じて高い。与信先は三菱電機グループを中心とした信用力の高い先が中心であり、不良債権の額は低位に抑制されている。慎重な与信姿勢やコロナ禍の長期化に備え保守的な引当を実施していることなどを踏まえると、与信費用が大幅に増加するリスクは小さいとみている。
- (4) 21年9月末の自己資本比率は9.1%（20年9月末8.4%）、ファクタリングにかかる営業資産を控除した後の自己資本比率は10.4%（同9.6%）と、営業資産残高の減少を主因に改善傾向にある。資金調達面では、メインバンクを中心に安定した間接調達基盤を有している。CPや債権流動化などの直接調達ルートも有するなど、調達の多様化も図られている。

（担当）加藤 厚・清水 達也

### ■格付対象

発行体：三菱電機クレジット株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	800億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年11月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：加藤 厚
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「リース」（2013年7月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 三菱電機クレジット株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル